

令和5年度 第2回 西脇市文化財保護審議会

令和6年2月20日(火) 午後2時～
生活文化総合センター 多目的研修室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 報告及び意見交換

(1) 令和5年度文化財関係事業報告について

ア 文化財保護事業

イ 郷土資料館事業

(2) 令和6年度文化財関係事業計画について

ア 文化財保護事業

イ 郷土資料館事業

(3) その他

5 閉 会

西脇市文化財保護審議会委員名簿（第10期）

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日まで

	氏名	住所	備考
会長	瀧原 務	加東市	学識経験者（近世史）
副会長	埴岡 真弓	姫路市	学識経験者（歴史学・民俗学）
	足立 裕司	西宮市	学識経験者（建築学）
	佐野 允彦	神戸市東灘区	学識経験者（文化財報道・活用）
	芝本 満	西脇市	学識経験者（郷土の歴史活用・啓発）
	西田 猛	西脇市	学識経験者（考古学）

事務局	教育長	遠藤 一博
	教育管理部長	高橋 芳文
	生涯学習課長	長谷川 広幸
	生活文化総合センター館長	佐藤 彰
	〃 主任	菅澤 敏弘
	〃 会計年度任用職員	松岡 弘幸

令和5年度 文化財関係事業報告（文化財保護事業）

実施事業名	実施時期	実施内容等
各種開発に伴う埋蔵文化財所在照会に対する回答	随時	令和6年1月31日現在 206件 うち埋蔵文化財包蔵地内9件（民間8件、公共1件） 本発掘調査0件、確認調査2件、試掘調査0件、 分布調査1件、工事立会0件
指定文化財管理事業	10月31日 完成	市指定文化財下山古墳公園(10/31、委託費 85,800 円)及び、古窯陶芸館(9/30、委託費 99,000 円)の草刈り、植木剪定等。
旧西脇尋常高等小学校の現地公開等	8月26日 3月23日	一般向け見学会（参加者 84名） 一般向け見学会
令和6年度、指定文化財補助事業計画ヒアリング	9月5日	次年度文化財保護事業についてのヒアリング（要望） ■ 莊厳寺（多宝塔 檜皮葺替、部分修理） （長期計画） ■ 兵主神社（拝殿 萱葺替、半解体修理）
西脇小学校保存活用計画策定会議	6月22日 10月12日 未定	第4回 第5回 第6回
無形民俗文化財調査	7月20日 10月4日 1月4日	「お般若」（未指定）大般若経転読。 薬師堂（大木町）にて、大般若経（市指定）の転読 あばれ太鼓（高田井町）未指定 なまずおさえ神事（板波町）県指定 妙覚寺ワラワラ（市指定）
文化庁補助事業 令和5年度「地域文化財総合活用推進事業」	4月～	西脇市歴史文化遺産活用活性化実行委員会 ①南旭町太鼓屋台修理事業（南旭町太鼓保存会） ②和田町太鼓屋台修理事業（和田町太鼓保存会） 採択額 1,471 千円
緑風台古窯陶芸館管理運営		1月末日現在利用者数 129人 過去同時期（令和3年 244人、令和4年 284人）
西脇市文化財保護審議会	9月29日 2月20日	第1回 第2回
文化財防火デー （西脇消防署、西脇市消防団共催）	1月21日	実施場所：住吉神社（上比延町・県指定文化財）
東播磨・北播磨地区文化財担当者会議	9月22日	内容：各市町からの提案議題、回答に基づく意見交換
文化財保存活用地域計画作成	通年	市内全域の文化財の総合的な把握 ・西脇市史等の既刊行物等からのリストアップ

令和5年度 埋蔵文化財発掘調査等対応状況

■埋蔵文化財包蔵地照会件数 206 件（令和6年1月31日日現在）

うち埋蔵文化財包蔵地内9件（民間8件、公共1件）

- ・本発掘調査【周知の埋蔵文化財包蔵地】 0件
- ・確認調査【周知の埋蔵文化財包蔵地】 2件
- ・試掘調査【周知の埋蔵文化財包蔵地外】 0件
- ・分布調査【周知の埋蔵文化財包蔵地外】 1件
- ・工事立会【周知の埋蔵文化財包蔵地内】 0件

	遺跡名 調査種別	事業名	対応
1	金城池窯跡群 分布調査	産業団地造成工事	分布調査（4月28日） 調査面積 約6ha 遺物を多数採取（須恵器）
2	石上神社遺跡 確認調査	個人住宅造成工事	確認調査（9月26日） 遺物（須恵器細片3点）遺構あり 掘削深度が遺構に至らないので慎重 工事。
3	金城池窯跡群 確認調査	産業団地造成工事	確認調査（10月28日～1月31日） 調査実働日 33日 調査面積 約3ha 委託額 6,523,000円



令和5年度埋蔵文化財発掘調査箇所 位置図

令和5年度 文化財関係事業報告（郷土資料館事業）

実施事業名	実施時期	実施内容等
古文書講座	11月～3月の 各月第3土曜日 (全5回)	講師：松尾良隆氏 受講申込者数：18名
夏休み体験教室	7月30日(日) 8月20日(日) 8月6日(日) 8月13日(日) 8月27日(日)	播州織コースターづくり 参加者数：14名(子供11名、大人3名) 参加者数：11名(子供6名、大人5名) 勾玉消しゴムをつくろう！ 参加者数：3名(子供1名、大人2名) 参加者数：5名(子供4名、大人1名) 参加者数：4名(子供3名、大人1名)
出張講座・講師派遣	5月19日(金) 6月20日(火) 10月13日(金) 10月17日(火)	シニアカレッジ 参加者89名 富吉南町いきいきサロン 参加者12名 西脇プロバスクラブ 参加者13名 黒田週一サロン 参加者18名
資料館団体見学受入れ	6月4日(日) 6月29日(木) 8月31日(木) 9月15日(木) 10月31日(火) 11月25日(土) 1月25日(木) 1月26日(金) 1月31日(水) 2月7日(水) 2月9日(金) 2月11日(日)	大阪産業大学(富澤教授) 22名 和み会(黒田庄町岡) 20名 大阪文化服装学院 26名 川島テキスタイルスクール 17名 フィールドパビリオン認定審査会 5名 北はりま田園空間博物館 8名 芳田小学校3・4年生 23名 比延小学校3年生 15名 中町北小学校3年生 25名 双葉小学校3年生 2名 西脇小学校3年生 57名 北はりま田園空間博物館 8名
令和5年度企画展 「黒田庄地区の発掘調査展」	8月1日(火) ～ 9月30日(土)	郷土資料館特別展示室 来場者数 374人
第87回特別展 「これなあに・むかしの道具28」	12月1日(金) ～ 1月31日(水)	小学校の社会科教材に対応 市内及び近隣市町の小学校から団体見学の対応 来場者数 370人
北はりま定住自立圏連携事業文化財共同企画移動展 「線路の記憶～大正から昭和を走り抜けた鍛冶屋線～」	3月2日(土) ～ 4月7日(日)	郷土資料館特別展示室 ※ 多可町 那珂ふれあい館 1月27日(土)～2月25日(日)
テラドーム30周年記念ブース出展	6月3日(土)	開催場所：テラドーム ワークショップ実施(勾玉消しゴム) 参加者 79名
第4回播博ブース出展	6月3日(土)	開催場所：生活文化総合センター ワークショップ実施(播州織コースターづくり) 参加者 11名
大中遺跡まつり	11月4日(土)	開催場所：兵庫県立考古博物館 郷土資料館の資料配布 ワークショップ実施(勾玉消しゴム) 参加者 250名

研究紀要 『童子山』 第26号発刊	3月末刊行予定	
収蔵資料燻蒸作業	3月11日(月) ～3月13日(水)	年間収集資料および定期管理品のガス燻蒸 委託費 247,500円
展示資料、調査研究資料購入	通年	予算 80千円
寄贈・寄託品の受入れ	通年	1月末日現在： 寄贈 11件 移管 1件 ※多井隆石の書画一式 340点 他
郷土資料館入館者数		1月末日現在： 1,501人 過去同時期（令和3年 838人、令和4年 1,673人）

令和6年度 文化財関係予定事業(文化財保護事業)

実施事業名	実施時期	実施内容等
各種開発に伴う文化財所在照会に対する回答	随時	
文化財保存活用地域計画作成準備作業	通年	市内全域の文化財の総合的な把握 ・西脇市史等の既刊行物等からのリストアップ
指定文化財管理事業	6月～11月	市指定文化財下山古墳公園(予算額 121 千円)及び古窯陶芸館(予算額 198 千円)の草刈り、植木剪定等
指定文化財補助事業計画ヒアリング		荘厳寺多宝塔修理 兵主神社拜殿修理
無形民俗文化財調査	通年	市内秋祭り、神事等 7/20「大般若経転読」大木町(薬師堂) 10月初旬「なまずおさえ神事」板波町(石上神社) 〃 「お笑い神事」下戸田(八幡神社) 1/4「ワラワラ」市原町(妙覚寺)
文化庁補助事業 令和6年度「地域文化財総合活用推進事業」	4月～	西脇市歴史文化遺産活用活性化実行委員会 ①富吉上町太鼓屋台修理事業 (富吉上町秋祭り保存会) ②津万井太鼓屋台修理事業 (津万井祭り保存会) ③田高太鼓屋台修理事業 (田高太鼓保存会) 要望額 2,759 千円
広報にしわきコラム 「にしわき歴史探訪」	通年	
文化財防火デー事業 (西脇消防署共催)	1月26日前後	文化財防火デーに合わせて実施 場所未定
緑風台古窯陶芸館管理運営		兵庫県指定文化財緑風台窯跡及び出土遺物の保存公開と陶芸の普及啓発。
西脇市文化財保護審議会	2回	

令和6年度 文化財関係予定事業(郷土資料館事業)

実施事業名	実施時期	実施内容等
古文書講座	11月～	月1回 計5回を予定
夏休み体験教室	7月・8月	播州織コースターづくり、勾玉消しゴムをつくろう等 5回を予定
出張講座・講師派遣	随時	「(仮)西脇市の文化財」(シニアカレッジ)
資料館団体見学受入れ	随時	
特別展、企画展の実施	年間2回	企画展「(仮)多井隆石展」7月下旬～9月予定 特別展「むかしの道具」1～2月予定 予算額 168 千円
ふるさと探訪ハイキング	年1回	未定
研究紀要 『童子山』 第27号発刊	6月～	A5判 80 頁程度。250 部印刷。近隣図書館、公共機関、小 中学校、博物館・資料館などに配布。一般頒価 1,000 円。 予算額 152 千円
収蔵資料燻蒸作業	2～3月予定	年間収集資料及び定期管理品のガス燻蒸＋活性炭入替 (3年に1回)。予算額 473 千円
展示資料、調査研究資料購入	通年	予算額 80 千円
寄贈・寄託品の受入れ	通年	
資料等利用許可	通年	

高松地区開発計画に伴う埋蔵文化財（金城池窯跡群）確認調査実績報告書（概報版）

1. 概括事項

（1）調査原因および原因者

調査原因：産業団地開発計画 原因者：西脇市（土地利用推進室）

2. 調査主体および調査担当者

調査主体：西脇市教育委員会 調査担当者：西脇市郷土資料館 松岡弘幸
菅澤敏弘

3. 調査期間 令和5年11月15日～令和6年1月19日（実働33日）

4. 調査請負 安西工業（株） 契約期間 令和5年10月28日～令和6年1月31日

5. 調査対象面積 約3万㎡

6. 調査に至る経緯と調査の方法

今回の調査は、西脇市土地利用推進室による、当該地における産業団地計画に先立つものである。調査対象地は、開発予定範囲6万㎡のうち、周知の埋蔵文化財包蔵地に相当する約3万㎡である（図1）。

対象地は、標高約276mの山頂から、南南西方向へ延びる尾根の西麓に広がる斜面上に位置する。この斜面には、複数の小規模な支尾根と、その間に形成された谷があり、支尾根裾の斜面には平安時代後期の、複数の窯跡が存在することが知られている。

調査は、2m×2mのトレンチを基本とし、現地の地形環境に応じて、1m×4mのトレンチを併用した。トレンチは基本的に20m間隔で設定したが、地形の起伏などに応じてより近接して配置した部分もある。基準となる座標点等がなかったことから、トレンチの位置は、対象地に隣接する市道上にある道路杭を基準とし、光波測量機によって測位した。ただし対象地が雑木林で覆われて見通しがきかないこと、開発予定範囲の境界が現地に示されていないことから、トレンチの一部は、埋蔵文化財分布地図上に示された「周知の文化財包蔵地」外に位置する結果となった。トレンチの位置は、図2・3に示している。

調査はまず対象範囲の南側から開始し、順次北側へ調査を進めた。調査途中で、土地利用推進室より調査範囲の拡張依頼があったため、対象範囲を拡張して調査を実施した。その後、地形とトレンチの位置を検討し、必要と考えられる部分にトレンチを追加した。なおトレンチ番号は、調査順に付している。

調査にあたっては、表土・盛土等を0.1㎡級バックホウで除去し、遺構が存在する地層の上面を人力で精査するという方法で実施した。調査過程で、必要に応じて写真撮影を実施し、必要に応じてトレンチ平面図および地層断面図を作成した。

7. 調査の結果

調査の結果は、表1に示したとおりである。合計97か所のトレンチを設定して調査を実施した結果、うち1か所（トレンチ79）で遺構が検出されたほか、トレンチ5か所から、各1点の遺物が出土した。ただし遺物はいずれも、二次的に移動したものである。以下では各トレンチの調査成果について記載する。

トレンチ 79 (図 2・18 写真図版 14)

尾根部の比較的平坦な面に設定した。トレンチ付近の地表面の傾斜は、南東→北西約 4° である。表土下には第 2 層 (極細砂～細砂)、さらに第 3 層 (シルト質極細砂～細砂) の堆積が認められた。これらを除いた第 4 層は、ごく軟質の風化岩盤となる。

表土下約 30 cm の第 4 層 (風化岩盤層) 上面で、直径 78 cm を測る不整形の土坑を検出した。明らかに人為的遺構と判断されたことから、その所属時期と機能を確認する目的で、西側半分の調査をおこなった。土坑底は椀底形を呈し、土坑底から壁面は被熱によって赤変しており、土坑底には炭層の堆積が見られた。出土遺物は見られなかったが、土坑内で火が焚かれたことが確認された。所属時期の判断には慎重でありたいが、調査地周辺に平安時代中期～後期の須恵器窯跡が存在することを考慮するならば、同時期の所産である可能性を指摘できよう。また土坑の機能について限定することは難しいが、土師器焼成の窯跡ないしは、竈基底部を含めた炉跡の可能性が考慮される。

なおトレンチ 79 は、土坑を保全するために土嚢で養生した後に、埋め戻しをおこなった。

まとめ

合計 97 か所のトレンチを設定して調査をおこなった結果、トレンチ 79 で土坑 1 基を検出した。土坑は、既述のとおり土坑内で火が焚かれた明確な痕跡をとどめている。所属時期を断定するには至らなかったが、至近距離に平安時代後期の窯跡群が存在することから、同様の時期に形成された可能性があるだろう。

トレンチ 79 以外では、調査着手前に予想された、窯跡、灰原、建物跡等の遺構は検出されなかった。トレンチ 36、45、70、74 では須恵器各 1 点が出土したが、いずれも本来の地層から遊離したものである。また各トレンチの地層断面の観察からは、今回の調査対象地の広い範囲が、現代 (20 世紀中頃以降) に、高位部の削平と低位部の埋め立てなど、相当程度地形の改変を受けたと判断された。

取扱い

工事掘削に先立ち、トレンチ 79 周辺においては、本発掘調査が必要である。その他の部分については慎重工事とする。



本発掘調査
 慎重工事

金城池窯跡群

鹿柵

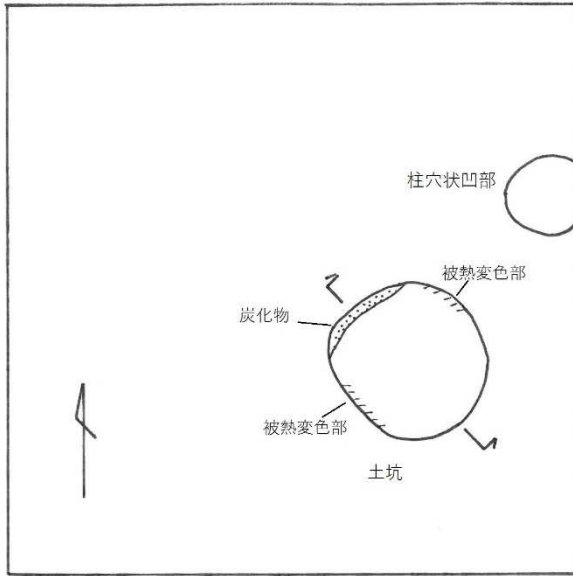
高松町

口梨池

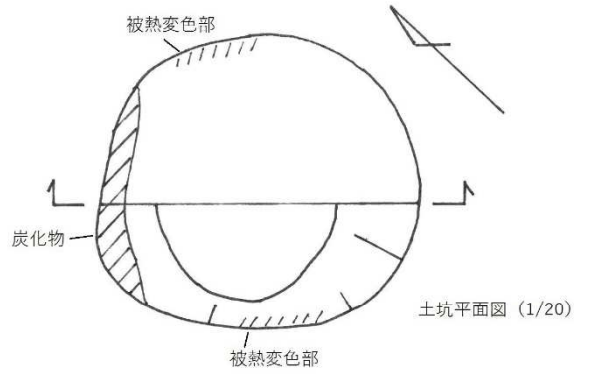
やかた池

金城池窯跡群確認調査範囲全体図 (1/2000)

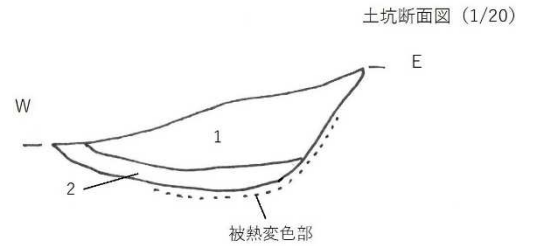
トレンチ79平面図 (1/40)



0 1m



土坑平面図 (1/20)

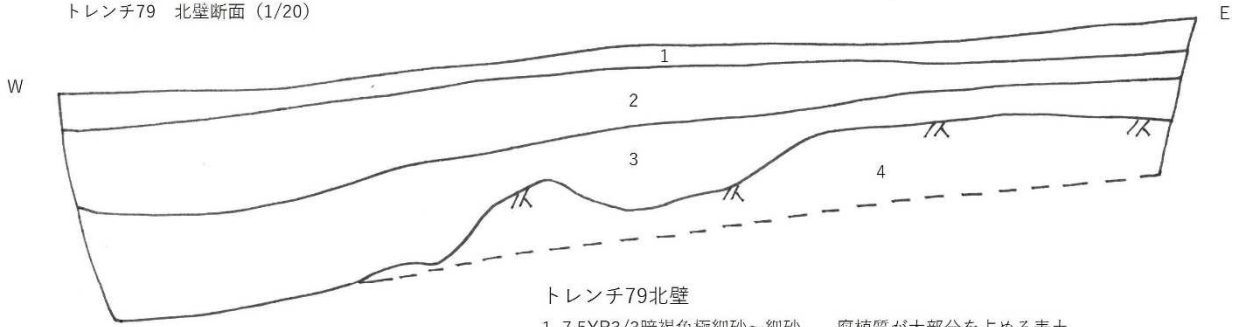


土坑断面図 (1/20)

土坑

- 1. 10YR5/4にふい黄褐色極細砂～細砂 径1cm以下の礫を含む
- 2. 10YR3/2黒褐色極細砂～細砂 炭の微粒子を多量に含む
- * 土坑底面は被熱のため赤変している

トレンチ79 北壁断面 (1/20)



1/20

0 1m

トレンチ79北壁

- 1. 7.5YR3/3暗褐色極細砂～細砂 腐植質が大部分を占める表土
- 2. 10YR6/6明黄褐色極細砂 径1cm以下の礫を散漫に含む
- 3. 10YR6/4にふい黄褐色シルト質極細砂～細砂 径1cm以下の礫を含み 径10cm以下の礫をわずかに含む
- 4. 10YR6/6明黄褐色砂質シルト 硬化している 上半は風化している 風化岩盤の上



トレンチ79 土坑検出状況 (北から)



土坑断面 (西から)